



2018年度 情報処理学会関西支部 支部大会 プログラム

日時：2018年9月30日(日) 10:00～17:00
場所：大阪大学中之島センター 3F、4F、5F

特別講演

プログラミングおよび情報教育 / 14:45～15:45 会場：3F講義室304

「人型ピクトグラムと共に歩む、これからの情報教育」

【講演概要】

高等学校では2022年度より学年進行で適用される新学習指導要領において、情報の科学的理解を基軸とする「情報I」が必修科目となる。また2021年度からの中学校「技術・家庭科」では、プログラミングの比重が高まる。2020年度からの小学校においても、プログラミング教育の導入が注目されるなど、2020年代を見据えた新しい情報教育のあり方が求められている。そこで人型ピクトグラムという抽象度の高い、人間を模した表現に着目し、研究を進めている。人型ピクトグラムを用いることで、人の日常的活動や社会的活動とリンクしたテーマを取り扱いやすいというメリットがある。教科や教育段階の枠を超えて適用可能な研究をいくつか紹介した上で、そもそも人型ピクトグラムに着目した理由と経緯及びその有用性について議論する。

伊藤 一成 イトウ カズナリ

(青山学院大学 社会情報学部 准教授)

2005年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了。博士(工学)。2005年青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科助手、2007年助教。2008年同大学社会情報学部 助教、2010年准教授、現在に至る。放送大学客員准教授を兼任。メディア情報処理、メディア情報学に関する研究及びその情報教育への応用研究に従事。情報処理学会論文誌ジャーナル/JIP編集委員会委員、情報システムと社会環境(IS)研究会運営委員、データベースシステム(DBS)研究会運営委員、コンピュータと教育研究会(CE)運営委員を歴任。現在、情報処理学会論文誌「教育とコンピュータ」編集委員、同会誌教育 WG(EWG)編集委員、同学会セミナー推進委員会委員など。



チュートリアル

英語チュートリアル / 16:00～17:00 会場：3F講義室304

Selling Your Research, Selling Yourself: Fundamentals of the 'Pitch' Presentation

【講演概要】

In recent times, the spheres of research and business have grown increasingly aligned: Novel ways of funding and promoting research work have compelled the researcher to more frequently wear the hat of "businessperson," despite his or her wishes. Ron Read has been working with the Osaka Chamber of Commerce as well as Nippon Venture Capital Company to train Japanese researchers and business staff in 'selling' their ideas and products to potential investors or collaborators using the medium of very quick (typically 2-5 minutes) 'pitch' presentations. Here, preparation, clarity, and persuasiveness are essential. The brief tutorial session will cover key areas of pitching: understanding the functions and goals of pitching, planning your pitch, pronunciation and body language, various do's and don'ts, and building the 'pitch deck' (PowerPoint slides used to pitch). A full-text guide to the presentation can be downloaded at no cost shortly after the Convention.

Ron Read

(Human Global Communications Co., Ltd. Vice President/Kansai Branch Manager)

Ron Read is a vice president, board member and Kansai Branch Manager of Human Global Communications Co., Ltd. (formerly Kurdyla and Associates Co., Ltd.), a communications services firm established in Japan in 1969. He holds a bachelor's degree in Journalism from the University of Oregon and an English Instructor certificate from the French Government. Before coming to Japan in 1986, he worked as a radio news producer, a radio news reporter, and a newspaper editor. His current duties include training and supervising technical rewriters, presentation trainers, and seminar instructors. His work also involves rewriting of technical papers, corporate communications, and academic books, as well as giving personal and group presentation training to researchers, engineers and executives. Previously, he organized a conference secretariat in Japan (International Business Communicators). He serves as secretary of the Kinki Macintosh Users Group and is a long-time member of the Osaka Chamber of Commerce and Industry. He has evaluated the writing quality of letters and papers submitted to IEICE, Group D, and writes a column (Author's Toolkit) in their quarterly journal.



～各種マークの説明～

◎ 学生優秀発表賞・支部大会奨励賞について

講演番号に◎マークが付いている発表は、学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表です。
 情報処理学会の学生会員（入会申請中も含む）を対象に、特に優れていると認められる研究発表に対して、「学生優秀発表賞」と副賞を授与します。（ただし、過去に「学生優秀発表賞」（2015年度までの「学生奨励賞」を含む）を受賞したことがある方は、受賞対象外とします。）また、学術奨励のため有為と認められる学生会員の研究発表に対して、「支部大会奨励賞」を授与します。

∞ ジュニア会員特別賞について

講演番号に∞マークが付いている発表は、「ジュニア会員特別賞」対象発表です。
 情報処理学会のジュニア会員（小中高生、高等専門学校専攻科1年生以下、大学学部3年生以下、短期大学生、専門学校生）による優れた研究発表・活動に対して、賞を授与します。

† 推薦論文について

講演番号に†マークが付いている発表は、推薦論文対象発表です。
 支部大会における発表論文の中（ただし、著者の少なくとも1名が本学会員であり、論文原稿6ページ以上のもの）で、特に優れた論文は、情報処理学会論文誌ジャーナルに推薦させていただきます。

★ キャリアエクスプローラマークの運用について

著者の氏名の先頭に付いている★マークはキャリアエクスプローラマークです。
 情報処理学会関西支部では、本大会が就職を控えた学生やポストクを始めとする求職側と、企業・大学・研究所などの求人側との出会いの場となるよう、キャリアエクスプローラマーク（以下CEマーク）を導入しています。発表者である求職中のポストクまたは学生が、本人の希望により、CEマークを大会プログラムや発表スライド、ポスターに書き記しています。
 このマークを付ける事で、求職中の発表者は気軽にキャリアエクスプローラであることを表明でき、求人側は効率的に声をかけて頂く事が出来ます。CEマークについて、詳しくは次のURLをご覧ください。 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_ce/

午前の部

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラ

G：一般1（アルゴリズム・最適化）		
10:00～11:30 会場：3F 講義室301 座長：波部 斉（近畿大学）		
G-01 †	モバイルエージェントによる自己安定グラフ探索	○原 悠樹、首藤 裕一、角川 裕次、増澤 利光（大阪大学）
G-02	最大辺重みクリーク問題に対する分枝限定法に関する一考察	○池田 総志、山口 一章、増田 澄男（神戸大学）
G-03	複数希望リスト安定結婚問題に対するNP完全性の改良	岡本 和也、○宮崎 修一（京都大学）
G-04 ◎	Bezier曲線を生成元とするVoronoi図の厳密な位相構造の決定	○辻野 弘章、今井 敏行（和歌山大学）
G-05 ◎	非線形ナップザック問題に対するグローバルグリーディ法	○★伊藤 直也、米澤 朋子（関西大学）、岡田 佑一（トータス）、仲川 勇二（関西大学）
G-06	関数最適化問題を解くACO for Continuous Domainsの有効性の検証	○★刀根 拓也、李 朝盛、徐 暢、高橋 良英（京都情報大学院大学）

G：一般2（自然言語処理）		
10:00～11:30 会場：3F 講義室302 座長：上野 敦志（大阪市立大学）		
G-07	ドキュメントの構造の自動抽出	○★鷗飼 理央、山本 博史（近畿大学）
G-08 ◎ †	係り受け構造を利用した日本語句構造文法の構築	○新谷 宥希、岡 留剛（関西学院大学）
G-09	Twitterにおけるユーザの性格推定	○津崎 誠也、山本 博史（近畿大学）
G-10 ◎	歌詞解析と心拍変動分析を用いた楽曲による感情への影響の予備的調査	○大木 麻里衣、丸野 由希（京都女子大学）、久保 孝富（奈良先端科学技術大学院大学）
G-11 ◎	画像の印象に基づく印象語の抽出に関する検討	○並里 翔平、永廣 幸太郎、横田 和亮、山岡 拓生、大北 拓哉、兒島 宏樹、梁 泳成（大阪工業大学）、大井 翔（立命館大学）、佐野 睦夫（大阪工業大学）
G-12 ◎	印象語に基づいた文章の画像化に関する検討	○横田 和亮、有山 貴瑛、並里 翔平、山岡 拓生、大北 拓哉、兒島 宏樹、梁 泳成（大阪工業大学）、大井 翔（立命館大学）、佐野 睦夫（大阪工業大学）

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラー

C : ネットワークサービス1		
10:00~11:30 会場 : 3F 講義室303 座長 : 白浜 公章 (近畿大学)		
C-01	◎ † ナビゲーション向けARマーカを利用した位置推定支援	○堀江 大輔、勝間 亮 (大阪府立大学)
C-02	◎ † 屋内探索でのノードの往復による通信環境の構築	○植村 正人、勝間 亮 (大阪府立大学)
C-03	◎ † 車両走行状況を考慮したダイナミックマップの効率的更新手法	○杉坂 竜亮、佐藤 健哉 (同志社大学)
C-04	◎ スマートデバイスによるストレスの負荷が少ない情報提供方法の提案	○小形 紘右、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
C-05	◎ モチベーション維持システムに向けた心拍の分散を用いた集中度判定システムの検討	○藤本 啓一、伊藤 淳子、宗森 純 (和歌山大学)
C-06	◎ めいぐるみの視線誘導による自動観光案内システムの開発	○長田 颯斗、吉野 孝 (和歌山大学)

C : ネットワークサービス2		
10:00~11:30 会場 : 3F 講義室304 座長 : 市川 嘉裕 (奈良工業高等専門学校)		
C-07	経路ハイジャック検知手法としてのプレフィックスによる経路解析	川橋 裕、○米谷 昭徳 (和歌山大学)
C-08	MARSを利用した使用されていないIPアドレスの検出	○山下 和志、川橋 裕 (和歌山大学)
C-09	IPアドレスのマスク検索を用いた通信記録の管理改善によるネットワーク管理支援システムTRAFLの活用手段の向上	○片山 裕太、川橋 裕 (和歌山大学)
C-10	多段DRIPを用いたDoS攻撃に対する防御手法の提案	○中川 慶祐、川橋 裕 (和歌山大学)
C-11	◎ ロープウェイ式モニタリングにおける障害物位置の簡易的推定	○二本柳 京、勝間 亮 (大阪府立大学)
C-12	◎ † 無線LAN保護のための仮想専用チャネル構築法における媒体予約期間通知フレームの送信電力に関する一検討	○藤澤 健太、宮本 伸一 (和歌山大学)

G : 一般3 (インタラクション・シミュレーション)		
10:00~11:30 会場 : 4F 講義室404 座長 : 中島 重義 (大阪市立大学)		
G-13	◎ 顔をスクリーンとしたコミュニケーション支援システムにおける心拍情報提示機能の開発	○明松 悠太、吉野 孝 (和歌山大学)
G-14	照明を用いた人の存在感表現手法の検討	○★川向 ひかり、外村 佳伸 (龍谷大学)
G-15	◎ † IPネットワーク構築演習における対話による建設的相互作用を促す協調学習者ロボット	○伊藤 旭、井口 信和 (近畿大学)
G-16	◎ 視界分割を用いた複数空間におけるコミュニケーション手法の提案	○本信 敏学、吉野 孝 (和歌山大学)
G-17	∞ 行動観察調査に対する経路探索シミュレーション手法の検討	○溝上 春輝、窪田 哲也、鯉坂 誠之、青木 一弘、早川 潔 (大阪府立大学工業高等専門学校)
G-18	個体間の移動速度差を考慮した個体群モデルにおける交流頻度の実験的評価	○本村 駿弥、首藤 裕一、角川 裕次、増澤 利光 (大阪大学)

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表表、∞はジュニア会員特別賞対象発表表、†は推薦論文対象発表表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラー

B：社会と環境のエージェント知能		
10:00～11:15 会場：4F 講義室405 座長：中西 惇也（大阪大学）		
B-01 ∞	ヒューリスティックモデルを用いた学校内避難シミュレーションシステムの構築	○大東 虎之介、謝 孟春、村田 充利、森 徹、下村 樹（和歌山工業高等専門学校）
B-02 ◎	特定人物を模倣したチャットボット作成システムの開発	○三木 康太（和歌山大学）、宮部 真衣（公立諏訪東京理科大学）、吉野 孝（和歌山大学）
B-03 ◎	嗜好とリアルタイム性を考慮した飲食店検索システムの構築	○森田 真季（和歌山大学）、宮部 真衣（公立諏訪東京理科大学）、荒牧 英治（奈良先端科学技術大学院大学）、灘本 明代（甲南大学）、吉野 孝（和歌山大学）
B-04 ◎	クラウド型医療連携システムを基盤とした個人健康情報（Personal Health Record）管理システムの開発	○吉田 結花、吉野 孝（和歌山大学）、入江 真行（和歌山医科大学）
B-05 ◎ †	研究室における活動状況を可視化する在室管理システムの開発	○進藤 綺乃、吉野 孝（和歌山大学）

D：行動変容と社会システム1		
10:00～11:30 会場：5F 講義室507 座長：勝間 亮（大阪府立大学）		
D-01 ◎ †	ロボットの模倣行動が印象評価と援助行動に与える影響の検討	○★光國 和宏、奥 遼太郎、米田 貴行、小原 宗一郎、篠原 由美子、市川 淳、田中 一晶、西崎 友規子、岡 夏樹（京都工芸繊維大学）
D-02 ◎	ヒトとロボットの位置関係がロボットへの印象および商品への興味に影響するか	○福井 将人、浜田 深生、草野 泰輝、小寺 祥平、谷郷 力丸、田中 一晶、西崎 友規子、岡 夏樹（京都工芸繊維大学）
D-03 ◎	宅内行動シミュレーションを用いたQoL向上のための意思決定支援システムの検討	○大西 晃正、諏訪 博彦、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-04 ◎ †	ユーザのリソースの消費を考慮した意思決定支援のための複数経路提示手法の検討	○平野 陽大、諏訪 博彦、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-05 ◎	ソーシャルメディアにおける公共アカウントに着目したユーザの場所分析	○榎田 宗丈、吉野 孝（和歌山大学）
D-07 ◎	環境音の消失感を用いた予兆表現の提案	○長谷川 駿、吉野 孝（和歌山大学）

午後の部

G：一般4（システム設計・ネットワーク）		
13:00～14:30 会場：3F 講義室301 座長：増澤 利光（大阪大学）		
G-19	システム開発過程での変更の影響度から見る安全解析手法の比較検討	○入江 琴子（奈良先端科学技術大学院大学）、片平 真史、石濱 直樹（宇宙航空研究開発機構）、柿本 和希（有人宇宙システム株式会社）、崔 恩瀾、飯田 元（奈良先端科学技術大学院大学）
G-20 †	不具合報告事例分析に基づくテスト設計によるプロセス改善に関する考察	○辻原 拓弥、福安 直樹、満田 成紀、松延 拓生、鯉坂 恒夫（和歌山大学）
G-21 ◎	IoTフレームワークにおけるデバイス用プラグインのモデル駆動開発手法	○金岡 優奈、満田 成紀、福安 直樹、松延 拓生、鯉坂 恒夫（和歌山大学）
G-22	複数の異なる時間間隔に基づく構造化オーバーレイネットワーク構築手法の検討	○川上 朋也（奈良先端科学技術大学院大学）
G-23 ◎ †	トポロジの可視化と直感的なタッチ操作による素早いネットワーク制御を可能とするネットワーク運用管理支援システム	○藤田 紘生、井口 信和（近畿大学）
G-24 ◎	通信パケットの記録からのWebを介する攻撃の再現—メッセージローのステップ再現の検討—	○奥田 裕樹、福田 洋治、井口 信和（近畿大学）

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアexplorer

G：一般5（マルチメディア）		
13:00～14:00 会場：3F 講義室302 座長：米澤 朋子（関西大学）		
G-25 ∞	RGB深度センサを用いたVR上での現実物体の再現	○吉岡 寛人、村田 充利、謝 孟春、森 徹（和歌山工業高等専門学校）
G-26 ◎ †	直線の確率表現に基づく消失点の安定検出に関する研究	○舛本 高紀（和歌山大学）、陳 謙（株式会社センスタイムジャパン）、今井 敏行（和歌山大学）
G-27 ◎	機械学習による医薬品包装の外観不良の検出	○福島 誠人、波部 斉（近畿大学）、菊池 正樹、井森 健一（株式会社アイエムイー）
G-30 ◎ †	カメラを用いたバーチャル楽器におけるフレームレートによる演奏制限の解決法	○田中 純之介、勝間 亮（大阪府立大学）

C：ネットワークサービス3		
13:00～14:30 会場：3F 講義室303 座長：原田 智広（立命館大学）		
C-13 ◎	協調作業における遠隔参加者の存在感の向上を目的とした強調疑似表現の検討	○明松 悠太、吉野 孝（和歌山大学）
C-14 ◎	観光客を対象としたWeb閲覧時に防災情報にさらされるシステムの開発	○坂本 真輝、吉野 孝、永井 隼人、佐野 楓（和歌山大学）、リッチー プレント（和歌山大学国際観光光学研究センター）
C-15 ◎ †	外国人観光客向け防災知識提供システムにおける正解をもたないクイズの効果	○志垣 沙灯子、吉野 孝、永井 隼人、佐野 楓（和歌山大学）、プレントリッチー（和歌山大学国際観光光学研究センター）
C-16 ◎	訓練内容の共有を可能とした避難訓練支援システム	○★小松 亮介、福島 拓（大阪工業大学）
C-17 ◎ †	映像投影型ボードゲーム“アベノミックス”におけるコミュニケーションの分析	○安部 貴太、伊藤 淳子、宗森 純（和歌山大学）
C-18 ◎	オンデマンド動画視聴時の複数人の同期した反応を利用したインタラクティブな感想共有システムの提案	○西澤 元希、伊藤 淳子、宗森 純（和歌山大学）

E：プログラミングおよび情報教育		
13:00～14:15 会場：3F 講義室304 座長：中野 由章（神戸市立科学技術高等学校）		
E-02 †	シルエツトパズルゲームを題材としたプログラミング教材の開発と教育効果	○井上 泰仁（舞鶴工業高等専門学校）、小保方 幸次（一関工業高等専門学校）、橋 理恵（大島商船高等専門学校）、福永 修一（東京都立産業技術高等専門学校）、松野 良信（有明工業高等専門学校）、黒木 祥光（久留米工業高等専門学校）、小嶋 徹也（東京工業高等専門学校）、出江 幸重（鳥羽商船高等専門学校）、佐藤 秀一（長岡工業高等専門学校）、奥田 遼介（株式会社フリアードネットワーク）、寺元 貴幸（津山工業高等専門学校）
E-03 ∞	iPhoneのためのArduinoプログラミング環境開発の検討	○堀 敬三、森 徹、謝 孟春、村田 充利（和歌山工業高等専門学校）
E-04 ◎ †	情報リテラシーを対象とした理解度テストの生成と分析	○松本 陽平、村川 猛彦（和歌山大学）
E-05 ◎	流言情報の真偽確認促進システムの評価	○柿本 大輔（和歌山大学）、宮部 真衣（公立諏訪東京理科大学）、荒牧 英治（奈良先端科学技術大学院大学）、吉野 孝（和歌山大学）
E-06 ◎ †	ヒューマンピクトグラミング	○高橋 将樹、伊藤 一成（青山学院大学）

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアexplorer

G：一般6（情報技術応用）		
13:00～14:30 会場：4F 講義室404 座長：清水 敏之（京都大学）		
G-31 ◎	次世代シーケンサーによるゲノム解析のマッピング情報を用いた精度向上法の提案	○東 銀史、柿花 優成、大沢 勇統（近畿大学）、高橋 篤（国立循環器病研究センター）、大星 直樹（近畿大学）
G-32 ◎	農業センサデータに基づいたトルコギキョウのプラスチックの確率モデリング	○本廣 多胤（和歌山大学）、花田 裕美（和歌山県農業試験場暖地園芸センター）、吉廣 卓哉（和歌山大学）
G-33	オープンデータ利活用事例から推察する利活用に適した公共データの類型	○本田 正美（東京工業大学）
G-34 ◎	歯科情報による身元確認システムの提案	○安田 大誠、吉野 孝（和歌山大学）、玉川 裕夫（大阪大学歯学部附属病院）
G-35 ◎	発症早期のうつ病で観察される脳の構造的異常についての探索的研究	○酒井 翠（京都女子大学）、中野 高志（奈良先端科学技術大学院大学）、丸野 由希（京都女子大学）、岡田 剛、高村 真広、岡本 泰昌、山脇 成人（広島大学）、吉本 潤一郎（奈良先端科学技術大学院大学）
G-36	深層学習を用いた危険状態推定に基づく危険回避ナビゲーションの検討	○大北 拓哉、兒島 宏樹（大阪工業大学）、大井 翔（立命館大学）、佐野 睦夫（大阪工業大学）

A：グリーンコンピューティング・組み込みシステム + G：一般7（アーキテクチャ）		
13:00～14:15 会場：4F 講義室405 座長：神原 弘之（京都高度技術研究所）		
A-01 ◎ †	Approximate Computingを利用した配列型乗算器の遅延故障への対処法	○★渡邊 結希乃、山下 茂（立命館大学）
A-02 ◎ †	SCの定数生成におけるエラー率を考慮した面積コスト削減手法	○★坂本 雄大、山下 茂（立命館大学）
A-03 ◎ †	整数計画ソルバーを用いたNetworked Labs-on-Chipの設計手法	○★梅田 悠人、山下 茂（立命館大学）
G-37 ◎	環境発電素子を電源かつセンサとして利用する行動認識システムの設計	○菅田 唯仁、荒川 豊、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
G-38 ◎ †	仮想化環境のためのディスクキャッシュの変化に着目した動的メモリ割り当て	○石原 吉晃、芝 公仁（龍谷大学）

D：行動変容と社会システム2		
13:00～14:30 会場：5F 講義室507 座長：内山 彰（大阪大学）		
D-06 ◎ †	言語能力測定システムにおける負荷軽減手法の提案	○長田 颯斗（和歌山大学）、荒牧 英治（奈良先端科学技術大学院大学）、宮部 真衣（公立諏訪東京理科大学）
D-08 ◎	音楽の引き込み効果を用いた歩行ペース誘導アプリの検討	○大坪 敦、諏訪 博彦、荒川 豊、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-09 ◎ †	位置に応じたビュー切り替え機能と情報補完機能を有するモバイルアプリの設計	○和田 遥香、張 志華、藤本 まなと（奈良先端科学技術大学院大学）、荒川 豊（奈良先端科学技術大学院大学/JSTさきがけ）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-10 ◎	紙地図重畳提示を用いた逃げ地図作成における作成条件修正手法の提案	○谷岡 遼太、吉野 孝（和歌山大学）
D-11 ◎	加速度センサを用いた乗馬指導支援の検討	○丸山 悟、勝間 亮（大阪府立大学）
D-12 ◎	オンラインミーティングを対象とした参加者のエンゲージメント計測システムの検討	○曾根田 悠介、荒川 豊、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）

※◎は学生優秀発表賞・支部大会奨励賞対象発表、∞はジュニア会員特別賞対象発表、†は推薦論文対象発表、○は登壇者、★はキャリアエクスプローラー

ポスター発表

11:30~12:45 会場：4F 講義室406

A-101	◎ †	8, 16, 32ビットのプロセッサを搭載した教育用計算機：KR-CHIP	○柴田 敦也（奈良先端科学技術大学院大学）、大迫 裕樹、東 香実、中野 和香子（関西学院大学）、神原 弘之（京都高度技術研究所）
B-101	◎ †	クラスタリングにおけるパラメータの決定のための内的規準最適化	○石川 智己、岡留 剛（関西学院大学）
D-101		公共交通機関の地域クラウド型位置情報サービスの運営課題	○高橋 徹、山田 耕嗣、塚本 直幸、吉川 耕司（大阪産業大学）
D-102	◎ †	PC入力装置とセンシングチェアを活用したデスクワークのストレス推定	○★福田 修之（大阪府立大学工業高等専門学校）、水本 旭洋（奈良先端科学技術大学院大学）、和田 健（大阪府立大学工業高等専門学校）、安本 慶一（奈良先端科学技術大学院大学）
D-103	◎ †	一人対多人数講義における講義や学生の状態に応じた講義内サウンドスケープの予備的検討	○★北岸 佑樹、米澤 朋子（関西大学）
E-101	†	高等学校情報科と大学入試	○中山 泰一（電気通信大学）、中野 由章（神戸市立科学技術高等学校）、久野 靖（電気通信大学）、和田 勉（長野大学）、角田 博保（電気通信大学）、萩谷 昌己（東京大学）、寛 捷彦（東京通信大学）
E-102		COMET II改とCASL IIによる計算機と機械語の教育	○田川 聖治（近畿大学）
E-103	◎	人型ピクトグラムを用いたプログラミング学習環境「ピクトグラミング」の支援ツール「ピクトグラミングカード」の提案	○石井 幹大、伊藤 一成（青山学院大学）
E-104	◎ †	仮想現実を用いた初学者向けプログラミング学習システムの提案	○増谷 海人、赤澤 紀子（電気通信大学）
E-105	◎ †	micro:bitのブロックエディター機能の拡張とそれを用いた授業の提案	○石井 海渡、赤澤 紀子（電気通信大学）、山本 博之（都立神代高校）、中山 泰一（電気通信大学）
E-106	∞	「2048」のアルゴリズム	○中江 康公、米田 貴（神戸大学附属中等教育学校）
E-107	∞ †	ラテン音楽における音楽の機械化～ミュージシャンはいらない？～	○★西出 陽菜、米田 貴（神戸大学附属中等教育学校）
E-108		micro:bitを活用したものづくり体験学習授業 高校「情報の科学」実践報告	○米田 貴（神戸大学附属中等教育学校）、吉田 葵、伊藤 一成（青山学院大学）
G-101		弓道における射法八節姿勢提示システムの提案と評価	○佃 吉央、小枝 正直（大阪電気通信大学）
G-103	†	歩行加速度の周波数解析からNIKSラインとSVMを使った脳卒中片麻痺の判定	○中島 重義、池淵 充彦（大阪市立大学）、加藤 良一（大阪市立大学医学部付属病院）、菅原 鉄矢（吉栄会病院）
G-104	◎ †	歩行時の加速度データによるブルンストロームステージの分類推定	○奥村 元紀、中島 重義（大阪市立大学）
G-105		空撮画像のリアルタイム結合と効率的な画像結合のための画像選別アルゴリズムの提案	○★田桑 基晴、増田 祐至、小枝 正直（大阪電気通信大学）
G-106	◎	深層学習による水中映像からのマグロ成魚の領域抽出	○竹長 慎太郎、波部 斉、阿部 孝司、井口 信和（近畿大学）
G-107	◎	機械学習を用いた密度マップ推定による大規模魚群中の個体検出	○村田 一星、波部 斉、阿部 孝司、井口 信和（近畿大学）
G-108	◎	大規模魚群行動解析のための位置姿勢変化を考慮した個体追跡	○竹内 よしき、本郷 昂貴（近畿大学）、寺山 慧（理化学研究所/京都大学）、波部 斉（近畿大学）
G-109	†	地図ラベル配置問題に対する厳密解法の提案	○城戸 直人、増田 澄男、山口 一章（神戸大学）
G-110	†	2階層にまたがる頂点をもつグラフの描画アルゴリズムの改良	○池田 浩一郎、増田 澄男、山口 一章（神戸大学）
G-111	◎	機械学習を用いた映像解析による飛翔するコウモリの検出と追跡	○神山 恭祐（近畿大学）、藤岡 慧明、浅野 幸輝、飛龍 志津子（同志社大学）、波部 斉（近畿大学）
G-113		モーションゲームのためのユニバーサルスケルトン構築	○間馬 樹、井上 千里、PALIYAWAN Pujana、草野 貴宏、Yunshi Liu、THAWONMAS Ruck、原田 智広（立命館大学）
G-114		キュリオシティドリブンをを用いた格闘ゲームAIの提案	○井上 秀保、高野 喜名、OUYANG Wenwen、伊藤 卓、THAWONMAS Ruck、原田 智広（立命館大学）
G-115		ローリングホライズン進化的アルゴリズムを用いたベルソナ格闘ゲームAI	○野口 隼、石井 稜大、伊藤 卓、原田 智広、THAWONMAS Ruck（立命館大学）
G-116		GANとCNNを用いた絵画のカラー化	○佐藤 和那嘉、新家 歩、THAWONMAS Ruck、原田 智広（立命館大学）